

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題		
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
子 ど も 育 成 機 能	基 本 活 動	わんぱくランド(2)	11回	2	62	73	22	33		2			3	197	月に1回、工作や集団遊びなどの活動を行う。	季節の制作や集団遊びを行った。 広報の成果があり昨年度より自由 来館児童が30名増えた。	
		幼児クラブぶち夏祭り (3)	1回	9							10				19	幼児クラブの親子を対象に魚つりやひっぱりくじな ど、緑日風のブースを展開した。	別日に活動している2歳と3歳の各 クラブの親子が、一緒にお祭りを 楽しめる機会になった。
		夏祭り (3)	1回		6	41	11	22		7	4		2	93	小学生を対象にヨーヨーつりや型抜きなどのブースを 展開した。店番は高学年が担当した。	地域の運営協力会の方々や自由来 館児童も参加し、賑やかなお祭り になった。	
		ドッジボールクラブ(4)	11回		44	69	43	38	3				1	198	小学生を対象に公園で実施。試合を中心に取り組んだ。 また、4館交流ドッジボール大会に参加した。	年間22回実施予定だったが、天候の 関係で11回の実施となった。	
		ジャグリングクラブ(4)	23回		50	123	33	67	3				1	277	小学生を対象に実施。ディア波罗というコマの技を練 習した。	地域のお祭りや児童館の記念式典 でディア波罗を披露した。	
		検定(一輪車・けん玉)(2)	12回			117	1	30							148	けん玉と一輪車を技の難易度によって級分けし、その 技ができれば昇級となる。	けん玉は検定前に声かけをするこ とにより受検者が集まった。 一輪車も声かけをしていく。
		中高生企画(7)	4回	13				3	9	14					39	・オリエンテーション&クッキング ・中高生と赤ちゃん講座 ・幼児クラブぶち夏祭りのお手伝い ・中高生と赤ちゃんの交流事業(クリスマス会)	普段関わる機会の少ない乳幼児親 子と関わったり、赤ちゃん講座に 参加したり、中高生にとって良い 機会を提供できた。
		伏見こどもまつり(5)	1回		10	9	4	5							28	・他館との交流 ・コーナー遊びの展開	各児童館が展開しているブースで 工作やゲームを行った。他館の児 童や職員と交流ができた。
		やさいも会(3)	1回			13	1	3						1	18	小学生を対象に前庭で実施。選んだ芋に下処理をし、ド ラム缶で焼いてみんなで食べた。	焼き芋を自分で焼いて、友達と食 べる楽しさを味わえた。
		クリスマス会(3)	1回			3	36	8	18					1	66	小学生を対象に実施。実行委員の企画のもと、手品や ビンゴなどのレクリエーション、ケーキのデコレー ションなどを行った。	企画・司会が実行委員の児童の成 長につながった。学童児童に友達 を誘ってもらい、自由来館の参加 も多かった。
子 ど も 育 成 機 能	合 計	七輪でお餅を焼こう！(5)	1回		11	8	6	3		10				38	小学生を対象に実施。運営協力会の方や社会福祉協議 会の方にご協力いただいた。餅つき体験をしたあと、 七輪でお餅を焼いて食べた。	地域の方と交流しながら餅をつく 感触、焼いた餅の美味しさを楽し めた。	
		深草ふれあいプラザ2024(5)	1回			9								9	・ジャグリングクラブのステージ発表 ・児童館ブースへの参加	ステージ発表ではディア波罗の技 を披露でき、児童の達成感に繋 がった。	
		ハロウィンイベント(3)	1回		1	34	1	12						48	小学生を対象に実施。工作や仮装、フェイスペイント などのブースを展開し、ハロウィンを楽しんだ。	今年度は自由来館児童も参加可能とした。今 後は地域ぐるみのイベントとして展開しても よいかもしれない。	
		合 計	69回	24	187	532	130	234	15	43	4		9	1178			
		合 計															
		子ども育成機能 合 計															

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和6年度) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容		成 果 と 課 題
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計			
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	基 本 活 動	つくしクラブ(1)	33回	198						200				398	0歳～1歳過ぎの親子を対象としたクラブ（ふれあい遊び、手遊び、読み聞かせ、リズム遊び、製作等）	制作の日の参加者が多かった。通常の取組の日にも来てもらえるよう、アンケート結果をもとに内容を見直す。	
		たんぼぼクラブ（1）	34回	223						221				444	1歳半位～2歳半位と2歳半位～就園前の親子を対象としたクラブ（工作、リズム遊び、手遊び、体操、運動遊び、感覚遊び、絵本読み聞かせ、誕生日会、クッキング等）	半年の会費を値下げしても質の高さは保持され、満足度が高かった。たんぼぼの定員はほぼ満員だったが、ひまわりの登録人数を増やすことが課題。	
		ひまわりクラブ（1）	35回	173						150				323			
		深草あそぼうDAY(2)	12回	30						31				61	月に1回遊戯室に普段遊べないおもちゃ（ボールプール、すべり台、トランポリン等）が開放され、乳幼児親子が午前中から遊びに来られる日で誰でも利用できる。	取組をご存知の親子には楽しんでいただけたが、毎回の参加者が少なかった。今後は広報活動に力を入れる必要がある。	
		おためしクラブ体験(1)	1回	11						9				20	来年度の幼児クラブに登録を希望されている方や興味のある方の体験会。	すでに児童館の利用経験のある親子の参加がほとんどだった。新規の方向けに広報活動に力を入れる必要がある。	
		ファミリーサポート登録会（2）	3回	9						14				23	・ファミリーサポートの会員登録会 ・提供会員(地域リーダー)の方への質疑応答	依頼会員になりたい方にファミサポについて知っていただき、登録もしていただける機会をつくることができた。	
		乳幼児親子さんの音楽あそび(1)	1回	19						22				41	地域の乳幼児親子を対象に実施。音楽療法士に、親子で楽しめる音楽遊びを行っていただいた。	親子で音楽を楽しんでもらえた。今後は余裕をもって広報する必要がある。	
		子育て支援のための音楽療法(1)	1回	9						12				21	地域の乳幼児親子を対象に実施。音楽療法士に、子育てをがんばられている保護者向けの音楽療法を行っていただいた。	親御さんが音楽で癒されるような療法をしていただいた。お子さんも様々な楽器に触れられて楽しそうだった。	
		学童新規登録者面談(2)	随時	14	1					12				27	学童に新しく登録される親子の面談を行った。	事前に面談することにより、児童の配慮すべき点を職員で共有できた。	
		令和7年度学童クラブ入会説明会(2)	1回	8	1					18				27	学童に新しく登録される保護者向けに説明会を行った。	説明会を行うことにより、学童についての不明点を解消していただけた。	
	合 計	121回	694	2	0	0	0	0	689	0	0	0	1385				
	支 援 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等	件数	
			乳児	7	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 保育園、小学校、平安養育院					25	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他			15	児童相談所	3	
			幼児	2						10				保健所	12		
小1～3年（自由来館）			1							子ども支援センター							
小1～3年（学童）			9							幼稚園・保育園				5			
小4～6年（自由来館）	6		小学校	1													
中学生			中学校														
高校生			総合支援学校	4													
その他	{ はぐくみ室 }																
件数 計	25	—					25	—			25	—	25				
推 進 活 動	(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容					育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題					
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容					成 果 と 課 題								
		児童館だより、乳幼児親子向けおたよりを地域に配布	12回	近隣の保育園、幼稚園、小・中学校、運営協力会や地域の委員の方の自宅へ直接おたよりを届け、児童館での活動を知ってもらう。					近隣の施設だけでなく深草支所におたよりやイベントのチラシを置いてもらった。それにより、児童館を利用したことがない人にも当館を知ってもらうことができた。また、インスタグラムでも頻繁に投稿したことにより、多くの人に取り組みを知っていただけた。								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和6年) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児 童 館

地域福祉促進機能	基 本 活 動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	合 計					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ								
			夏祭り	1回	京都市深草児童館		6	41	11	22	4	9	93	運営協力会	「子ども育成機能」参照
			ふかくさ亭(子ども食堂)	22回	京都市深草児童館			186		72		50	308	運営協力会	毎月定員を超える募集がある人気行事となっており、満足度が高い。
			児童館開設50周年式典	1回	京都市深草児童館	5	10	8	7	4	5	44	83	運営協力会	地域の方々と盛大にお祝いでき、ステージ発表も成功した。
			深草ふれあいプラザ2024	1回	藤森神社			7		2			9		「子ども育成機能」参照
			七輪でお餅を焼こう！	1回	京都市深草児童館		11	8	6	3		10	38	運営協力会	「子ども育成機能」参照
			洛和メディカルフェスティバル	1回	洛和福祉会	13	3	5	1	4		16	42	社会福祉協議会	午前は幼児親子、午後は学童クラブ児童という二部制で実施した。
			深草中学校チャレンジ体験受け入れ	1回	深草中学校						2		2	深草中学校	地域の中学生に児童館の仕事について知ってもらえた。
			京都看護助産学校の学生との交流	1回	京都看護助産学校			20		1			21	京都看護助産学校	学童児童と学生が交流できた。
			合 計	29回	—	18	30	275	25	108	11	129	596		
	本 活 動	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
・ 龍谷大学NPOボランティアセンターとの連携			中高生	大学生	大人	合 計									
					合 計										
	機 能	(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容							成 果 と 課 題				
			地元連合会 社会福祉協議会 民生児童委員会 女性会 深草地域の保育園・幼稚園・児童館・小学校・中学校 地元池ノ内町内会・うずら会 (深草学区老人会)	①近隣の保育園、幼稚園、小・中学校、市役所、運営協力会や地域の委員の方の自宅へ直接おたよりを届け、児童館での活動を知ってもらっている。また、児童館の入り口にポスターを掲示し、インスタグラムでも告知している。おたよりや掲示板を通し、児童館で取り組むイベントを知っていただいた上で、地域の方に連絡をとって協力や参加の依頼をしている。 ②深草ふれあいプラザ2024への参加。							①の結果、イベントが周知されたことにより地域の方々が様々な場面で協力してくださった。また、地域の方々と児童館の利用者が交流することができた。 ②に参加したことにより、当館を知らない人とも関わる事ができた。また、ステージ発表をし、ブースを展開したことで広報活動につながった。				

(令和6年度) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児 童 館

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組 織 名 称		構 成 団 体 ・ 個 人		会 議 ／ 取 組 頻 度		議 題 ／ 取 組 内 容		成 果 と 課 題	
			深草児童館運営協力会		深草学区社会福祉協議会 自主防災会 共同募金会 市政協力委員協議会 保健協議会 民生児童委員会 安心安全ボランティア会		1 回（全体会） 運営協力会の方々が 月 2 回子ども食堂の食事を 作りにきており、その際定 期的に活動報告等進めてい る。		深草児童館運営協力会 ・ 運営協力会会長挨拶 ・ 洛和福祉会より挨拶 ・ 令和 7 年度運営協力会委員の紹介 ・ 令和 7 年度深草児童館職員の紹介 ・ 令和 6 年度運営状況報告 ・ 令和 7 年度事業計画 ・ 子ども食堂について		多様に協力を得ることができている。	
	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）		成 果 と 課 題			
			図書室の提供 遊戯室の提供 児童書・一般本・紙芝居の貸し出し 運動会などで使われる道具などの貸し出し 椅子・机の貸し出し 花山児童館の夏祭り（かき氷機）		地藏盆 地域住民の話し合い 子育て支援 PTAの行事 近隣の児童館の年中行事 地域住民の話し合い		池ノ内町西部 地域の乳幼児親子 深草小学校 花山児童館		おたよりやイベントのポスターを配布、掲示することによ り、児童館の取り組みを知っていただくことができた。今 年度からインスタグラムを活用し、児童館になじみがない 方への周知も行った。			
能	(6) 地域調査活動	調 査 名		調 査 目 的		調 査 対 象		調 査 主 体		調 査 方 法		成 果 と 課 題
		学童クラブ保護者アンケート 乳幼児クラブ保護者アンケート 中高生と赤ちゃんふれあい事業		利用者意見の反映 利用者意見の反映 利用者意見の反映		学童クラブ保護者 乳幼児クラブ保護者 中高生		深草児童館 深草児童館 深草児童館		アンケート アンケート アンケート		それぞれのアンケート結果から、利用者が何に満足し、どういっ たところの改善を望んでいるか把握できた。アンケート結果を参 考に、今後も満足度の高い児童館を目指す。

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	乳幼児クラブたより	月1回	乳幼児の保護者	近隣の児童福祉施設や役所への配布 乳幼児クラブの際に職員による案内 当児童館での配付 ホームページ掲載	乳幼児クラブの紹介 児童館行事の案内・その他自由参加の取り組みの紹介 図書貸し出しについて紹介	乳児クラブでは、ホームページで当館を知ってくださった方が多く、新規の利用につながった。幼児クラブでは、継続利用の方や、その知り合いの紹介で来られる方が多かった。
	児童館だより	月1回	学童クラブ児童とその保護者 乳幼児の保護者 一般来館者 近隣の福祉施設・深草学区各種 団体・保育園・幼稚園・小中学校・役所	学童クラブ児童への配布 当児童館での配付 広報対象への配布 ホームページ掲載 ポスターにして児童館掲示板に掲示 ICTで保護者に配信	一般来館者対象のクラブや行事内容 児童館からのお知らせ・お願い 前月の活動報告	児童館に遊びに来た乳幼児親子や自由来館児童に配布し、イベントや取り組みについて知ってもらったり、参加を促したりしている。 学童クラブの保護者にもアプリで配信することにより、学童だけでなく児童館全体の取り組みを把握していただけるようにしている。
	おやこ通信	2か月に1回	幼児クラブ登録保護者	当児童館での配付 メールで保護者に配信	幼児クラブ行事予定表 行事内容の詳細	幼児クラブの予定を掲載することによって、先のクラブへの見通しをもってもらえることができている。また、持ち物も記載し、準備いただいている。保護者から要望があったため、メール配信と用紙の2つの媒体で発行している。
	大学生ボランティア募集	通年	近隣の大学の学生	大学の掲示板や研究室等へポスター 掲示	学童クラブや一般来館児童との関わりや行事のお手伝いをしてくれる学生の募集	大学でのポスター掲示やチラシは定着している。今後も、今来てくれている学生ボランティアに紹介を依頼したり、ホームページやInstagramを活用したりし、随時募集をかけていく。
	介助ボランティア募集	通年	地域住民・学生	当児童館でのポスター掲示 役所でのポスター掲示 広報誌ボランティアズ掲載 OB・OGへの声かけ	学童クラブに通う障害のある児童の支援をしてくれる方の募集 生活のお手伝いや、他児童とのコミュニケーションの仲介など。	作年度から来てくださっている介助ボランティアの方が、引き続き児童と関わってくださった。今後も引き続きポスター掲示なども行いつつ、OB・OGに声をかけることで地域住民との関係も構築していく。
	Instagram	随時	すべての方	定期的なInstagramの投稿 (週1~2回目安)	各事業の活動報告 各クラブ活動の募集 当児童館のイベント告知 館内の掲示物紹介など	児童館の取り組みを報告したり、イベントの告知をしたりしている。週に1回は更新しており、利用者から「いつも見えています」「楽しみにしています」と言っていただけ。

(令和6) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援 助 機 能	安全・衛生の確保	手洗いの励行 遊具・玩具などの定期的なチェック 屋食時・おやつ時の衛生管理	普段から日々の活動の中で手洗いの呼びかけを徹底していたことで、感染症の流行・拡大を最小限に抑えることができた。感染症が流行するシーズンには児童自身も丁寧に手を洗う様子が見られ、手洗いを忘れることも少なかった。今後もチェックと声かけを続ける。 安全点検を月に一度行い、前庭の遊具を安全に使用できるようにしている。危険箇所が発見された時には早急に情報を共有し対策をとるようにした。室内の備品、玩具に関しては定期的に危険や破損がないかなど確認している。 机だけでなくドアノブなど共有部分の消毒を行い、衛生管理に努めた。また館内に手洗いのマニュアルを掲示し、児童の手洗いの徹底を促した。職員が食品を扱う時はゴム手袋を着用し、食品の冷蔵庫保管にも注意した。 登下館時については、各小学校と連携を取りながら、安全の確保、登館時刻の確認等、職員間の共有に努めた。新規児童については、下校ルートを確認し安全に帰ることができるよう指導した。 学級閉鎖クラスの伝達や児童の様子など、学校と情報を共有した。また館内で体調を崩した場合は、他の子と隔離し、風邪などが蔓延しないように努めた。また、気持ちが不安定な児童には、職員が寄り添うなどの支援に努めた。 登館時、下館時はもちろん、日常生活における様々な場面で挨拶をすることの大切さを伝え、周知した。結果として、外部の方や地域の方にも挨拶をしている場面が見られた。また登館時の確認にも役立っている。（忘れる児童には指導） 学校の長期休業期間中は、朝の時間を利用して学校の宿題の取り組みを促した。家庭から問題集を持参したり、読書したりする児童もいて、それぞれが課題に向き合うことができた。普段から学習に向かう姿が定着していたことで、長期休暇中であっても集中して取り組む様子が見られていた。中には問題が分からないことで集中が途切れてしまう児童もいたが、介助ボランティアや職員が丁寧に寄り添うことで最後まで取り組むことができていた。 日頃から児童には整理整頓をするように声かけをしていた。下館時にも忘れ物をしないよう、さらに声かけをした。 また物の大切さを伝える為、物を丁寧に扱うよう伝えた。使用したおもちゃなどは児童たちが自分で片づけをしている。
	健康の管理・情緒の安定	登館・下館時の安全の確保 健康チェック(各小学校と連携)	
子 ど も 育 成 機 能	基本的生活習慣の確立	挨拶の励行 学習時間の確保(長期休暇中) ※平常時については自主性で取り組む 整理整頓、物の大切さを教える。 (ロッカーの整理・おもちゃの整理等)	
	生活体験の拡大	おやつ当番活動 (助け合っておやつ当番の仕事をやり遂げる) 毎月の行事 (誕生日会・子ども食堂) 季節行事 (新入生歓迎会・ハロウィンイベント・クリスマス会の準備・お楽しみ会 等) 館外活動 (なかよしマーケットの間屋・伏見こどもまつり、4館ドッジボール大会等) クラブ活動 (ハンドメイドクラブ・将棋クラブ・高学年クラブ) (ジャグリングクラブ・ドッジボールクラブ:児童館事業)	おやつ当番という役割を友だちと協力し、きちんと役割を終えることで認め、褒めてもらうといった経験を得ることができ、次もしっかりと頑張れるという姿に繋がった。当番同士の協力が必要で、異年齢児童の関係性も深まっていた。 誕生日会は毎月の月末に開催し、誕生日児童を皆でお祝いをした。みんなの前に立ち、お祝いしてもらう事で、自己肯定感を育むことができた。子ども食堂では、地域の運営協力会の方々が料理してくださり、皆と一緒に食べる喜びやマナーを身に付けながら関係を深めていくことができた。子ども食堂以外でも運営協力会の方とかかわりを深めていくことができている。 季節行事において、子どもたちの自主性に重きをおきながらイベントと一緒に進めていくようにした。クリスマス会では高学年クラブと実行委員会による取り組みとなり、役割分担しながら責任感をもってイベント進行、内容検討など行った。また、館外活動のなかよしマーケット(間屋)では、児童館内で作成した商品を高学年の参加児童が児童館の代表として他館児童と交流し、商品の説明・発表や買い付けなど行った。自主的に参加し、主体性をもって取り組む活動に児童も楽しさや喜びを感じている様子であった。 クラブ活動では、今年度から高学年クラブを発足し、高学年の居場所作りや主体性をもった活動を行った。ジャグリングクラブでは深草ふれあいプラザや深草児童館50周年式典に出演し、素晴らしい技を披露した。イベントに向けて目標をもって練習に励み、発表時には自信をもって披露する姿が見られた。ドッジボールクラブでは、月に2回、近隣の公園で活動をし、自由来館児童も参加して皆で楽しめていた。将棋クラブではいろいろな相手と勝負することで研鑽し、夏冬のクラブ内大会や夏の京都市将棋大会にも数名参加するなど楽しみながら上達していた。ハンドメイドクラブでは、様々な物を作るチャレンジを楽しんでいた。各クラブ活動の中で、上手な子が練習中の子に教えたり、下級生が上手な上級生に教えてもらうために声をかけたりして、児童たちの関係も良いものになっていった。
子 育 て 支 援 機 能	社会性の養成	自立の促進と自主性の尊重 (なかよしマーケット(品物制作含む)・夏祭り等)	
	子育てに必要な情報の提供と交換	ICTによる出欠確認・保護者との連絡事項のやりとり ICTによるおたよりの活用、お知らせの伝達 保護者説明会の実施 個別相談活動	昨年度からICTうえぶさくらの使用を開始しており、出席連絡、おたよりの配信、アンケートの活用と保護者との連絡ツールとして多様な機能に利便性を感じる。しかし利用者のほとんどがICTの活用慣れてきてくれている中、利用方法で難しさを感じられた方もおり、適宜口頭や電話をしたり、保護者会などで伝えたりと対応する必要があった。またメッセージが届かない、通知されないといったアプリによる不具合が発生したことで、株式会社エステムに問い合わせ、保護者に対策方法を伝えた。使用方法については今後も丁寧に伝えていく必要がある。 年に2回の保護者会を行った。内容は、長期休暇時の過ごし方と今後の行事予定をお伝えした後、児童館で過ごす子どもたちの様子をスライドで保護者に見ていただき、最後に児童館からお伝えしたいこととお話しさせていただいた。年度末の保護者会では、子どもたちの様子に加え、来年度の申請についてのご案内をした。保護者会は、保護者から直接お話を聞けたり、保護者からの相談にも乗ることができたり、保護者同士が顔合わせにもなったりする良い機会であった。 個別相談活動では、日々の児童と過ごす中で一人ひとりの課題や問題を把握し、状況によっては、保護者の方と面談を行う形式をとった。また、障害のある児童については、保育園以外に療育センターとの話し合いなども例年行っている。 今年度も課題のある児童について、保護者や学校との情報共有を行い、連携を図り、解決に向けて取り組んだ。継続した援助が必要あ場合もあるため、児童の様子について何かあれば記録し、その都度対応するようにした。
	子育てを支えるネットワーク形成	学校・地域・関係機関との連携	児童や保護者に関する問題等について、学校の先生方や関係機関と連携し情報を共有して問題解決に向けて動いた。

(令和6) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中学生	大学生	大人			
挨拶や整理整頓の指導	(1) 毎日														挨拶や整理整頓を習慣にできるよう日々指導する。
子どもの状況等の把握	(1) 毎日														ICT等で把握し、出欠の有無、児童の体調管理も把握する。
おやつ提供	(1) 毎日														基本生協で注文をするが、行事の際はスーパー等で購入する。
登下館指導(引率含む)	(1) 随時														安全に登下館できるよう指導する。(引率する場合もあり)
学習の習慣化	(1) 毎日														毎日の声掛けと長期休み中は朝の時間に学習時間を設けている。
館庭掃除	(1) 随時														雑草抜きや枯葉の掃除等を児童と一緒にしている。
年末大掃除	(1) 1回	9	12	6	6	4	0					1		38	年末最終日に児童と一緒に館内、前庭の掃除を行う。
防災・避難・防犯・訓練	(1) 12回	163	129	81	88	61	0	0	4			6	1	533	年間を通し災害の危険、避難方法について学ぶ。
児童館での過ごし方指導	(1) 1回	15												15	新1年生に児童館での過ごし方を説明、指導する。
新入生歓迎会	(2) 1回	20	15	7	11	6	0							59	新入生を歓迎するため、年上の児童が遊びや特技披露を行う。
お花見	(2) 1回	14	11	9	12	7	0		1					54	前庭の桜の木の下でブルーシートを敷いて花見を楽しむ。
誕生日会	(2) 12回	169	139	87	96	62	0	7			1	5	4	570	毎月誕生日の児童をお祝いする。
看護の日	(2) 1回	11	6	3		1								21	看護学生の話聞き、交流する。
交通安全教室	(2) 1回	15	12	7	8	5	0					6		53	登下館時などの交通安全について警察官に教えていただく。
水遊び	(2) 1回	14	14	8	10	3						2	2	53	水鉄砲を使ってグループ対抗戦を楽しむ。
なかよしマーケット品物制作	(2) 3回	36	36	23	35	18	0							148	なかよしマーケットに向けて児童に品物制作の時間を設ける。
なかよしマーケット(問屋)(Aクラス)	(2) 1回	0	0	3	3	4	0							10	3年生以上の希望児童が他館へ行き、品物を買付けに行く。
なかよしマーケット(館内)	(2) 3回	14	15	11	10	15	0							65	どのように開催するか会議を行い、買い付けた商品の売買をする。
大正琴練習	(2) 14回	0	0	47	32	36	0						14	129	50周年式典の発表に向けて運営協力会の方々と練習する。
かき氷屋さん	(2) 2回	18	11	9	13	6	0					1	7	65	運営協力会の方々と招待し、皆でかき氷を食べる。
京都市子ども将棋交流大会	(2) 1回	1		3										4	京都市の将棋大会に将棋クラブメンバーが参加する。
駄菓子屋さんごっこ	(2) 1回	12	6	4	8	3	0							33	おやつ時に希望児童が売り手になり、紙のお金で買い物をする。
4館ドッジボール交流大会	(2) 1回	6	6	4	4	3						1		24	地域の児童館が集まってドッジボール大会を行う。
クリスマス会実行委員会(Aクラス)	(2) 7回	6	4	8	3	0	0							21	高学年クラブと希望児童がクリスマス会に向けて、企画・準備を行う。
お楽しみ遠足	(2) 1回	15	14	6	7	7	0					2		51	近くの公園に遠足に行き、交流を深める。
お弁当いらないDAY	(2) 2回	33	23	15	20	12	0							103	運営協力会より、王将から提供されたお弁当を児童へ支給する。
子ども食堂	(2) 22回	77	54	55	33	39	0						50	308	運営協力会のご協力により、児童へ楽しい食事時間を提供する。
ビデオ上映	(2) 17回	150	147	89	123	80	0							589	昼食後の休息確保の為に、映画を上映、鑑賞する。
落ち葉清掃	(2) 随時														前庭の落ち葉を児童と一緒に掃除する。
ハンドメイドクラブ	(2) 22回	110	127	37	2	32	0					2		310	月2回、制作をメインに活動する。
将棋クラブ	(2) 23回	27	41	68	79	0	0					5		220	月2回、将棋の上達を目指し対戦などを行う。
高学年クラブ	(2) 18回			16	30	59								105	高学年が主体となって遊びや行事を企画、実践する。
学童クラブ新入生説明会	(3) 1回							2					33	35	新入生の保護者を対象に児童館の利用説明を行う。
学童クラブ登録説明会	(3) 1回	1		1									26	28	学童クラブへの登録方法について説明を行う。
保護者会	(3) 2回												31	31	子どもの様子、今後の取組など保護者と情報共有を行う。
学校地域との連携	(3) 随時														学校行事や連絡事項、児童の気になる様子等、情報共有を行う。
関係機関との連携	(3) 随時														必要に応じて障害児施設や保育所等と情報共有を行う。
保育園の先生と連携	(3) 随時														新1年について気になることがあれば情報共有を行う。
保護者との個別相談	(3) 随時														新入生は必ず、在館生は必要に応じて面談を行う。
介助者との面談	(3) 随時														対象児童についての迎える準備、調整等を行う。
途中入会児童の対応	(3) 随時														年度途中に学童クラブに入会を希望する児童への対応を行う。
学童クラブだよりの発行	(3) 毎月														学童クラブのお便りを毎月発行する。
ICT(うえぶさくら)の活用	(3) 毎日														学童クラブ児童の出欠確認や保護者との連絡などを行う。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること